

第62回新潟県消防大会ポンプ操法競技会 ポンプ車の部で長岡川西方面隊 準優勝!!



8月7日（日曜日）に柏崎市で新潟県消防大会が開催されました。長岡市代表として長岡北部方面隊第13分団（小型ポンプの部）と長岡川西方面隊第16分団（ポンプ車の部）が出場しました。

当日は、真夏の太陽が照らしつける厳しい暑さの中、ポンプ車の部で準優勝、小型ポンプの部で4位と両分団とも持てる力を十分発揮し好成績を収めました。

また、今年の県大会からは、実際に水を出す「水出し操法」が行われ、放水技術や機関員のポンプ運用など今まで以上に高度な技術が要求されました。その中で、長岡市消防団は上位に食い込む活躍を見せ技術の高さを証明しました。

選手の皆さん、選手を支えてくださった皆さん、大変お疲れ様でした。



ポンプ車の部 準優勝 長岡川西方面隊第16分団



小型ポンプの部 第4位 長岡北部方面隊第13分団

《 ポンプ車の部 準優勝 長岡川西方面隊第16分団 》

長岡川西方面隊

第16分団長 三宮 桂

昨年、長岡市の競技会には小型ポンプ及びポンプ車の部で出場し、小型ポンプの部で長岡市代表として県大会に臨みました。結果は3位と惜敗。

今年は団員不足もあり、団員の負担軽減と結果を求め、ポンプ車の部1本に絞り出場を決意しました。

4月より本格的な訓練を開始し、長岡市の競技会に臨み県大会の出場権を勝ち取ったものの、競技会や訓練においても、選手を始め全団員が納得できる内容のものではなく、サポートする団員と選手のやりとりは、例年同等もしくはそれ以上に厳しいものでありました。

しかし、全団員が県大会優勝という目標に向けチーム一丸となり、訓練に励んで迎えた県大会。選手がすべてのプレッシャーを跳ねのけ、第16分団としては、ポンプ車の部2度目の準優勝という結果を残すことができました。ここまで、頑張ってくれた選手、そして選手をサポートしてくれた団員には心から感謝しております。

そして、今までご協力、ご尽力いただいた長岡消防署指導員、長岡川西方面隊、消防OB会、地元町内会、選手のご家族の皆様には感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

長岡川西方面隊 第16分団 選手紹介	
指揮者	山野 研己
1番員	安中 貴志
2番員	笠原 誉規
3番員	山本 仁
4番員	田中 学
補助員	長谷川 義和



〈 消防大会結果 ポンプ車の部 〉

順位	出場消防団名
1位	新発田市消防団
2位	長岡市消防団 長岡川西方面隊
3位	新潟市消防団 西方面隊

長岡川西方面隊 第16分団

指揮者 山野 研己

我々、第16分団は長岡市ポンプ車操法競技において、過去3大会、苦杯を味わってきたため、今年こそは県大会出場という思いを胸に、1月より月数回、4月からは早朝より本格的な練習を開始しました。それから県大会までの長期にわたり、団員の方々には、選手指導、操法準備、グランド整備、ホース巻など様々なサポートをしていただき、改めて感謝致します。そのおかげで、長岡市競技会で優勝し、我々は真夏の熱い太陽が降り注ぐ県大会において、待機線上に立つことができました。

県大会では、緊張感の中でも選手は冷静さを保ち、自分達の力を十分に発揮できたと思っています。競技後は安堵感、やり遂げた充実感、解放感、責任を全うした達成感を感じつつ、応援していただいた方々へ感謝し、選手で健闘を称え合うことができました。

選手には、様々なプレッシャーに負けることなく、黙々と一生懸命練習を重ね、結果を残したことに感謝します。結果は準優勝と、あと一歩優勝には届きませんでしたが、本当に悔いのない戦いだったと思います。

最後に、長岡市消防署の指導員の皆様のご熱く適切なご指導に感謝するとともに、長岡川西方面隊、消防OB会、地元町内会の皆様からの応援や早朝練習でのご指導、ご家族の皆様からのご配慮とご理解に対し、心よりお礼を申し上げます。大変ありがとうございました。

《 小型ポンプの部 4位 長岡北部方面隊第13分団 》

長岡北部方面隊

第13分団長 林 清 敏

今年こそは市内大会優勝という思いで臨んだ当日、操法前から選手の表情が硬い。この一本に訓練成果をすべて出さなければいけないというプレッシャーで緊張しているのがわかった。そこで選手の緊張をほぐそうと気軽に声をかけてみると普段と変わらぬ明るさが戻り、その瞬間、これは「いける。」と感じた。その結果、選手はいつも通りの動きを見せ、2位という好成績を収め県大会への出場を決めることができた。

県大会は水出し操法で行われるため、普段水を出すことに慣れていない選手にとっては苦難の連続でした。しかし、目標である優勝するために選手と団員が一丸となり、反復訓練することにより徐々に自分たちの操法ができようになった。大会当日まで誰ひとり疲れの色を見せず、選手は操法に集中し、団員はサポートと各自が役割を十分に果たし、第13分団の絆を強固なものにすることができた。

そのおかげで、選手は最高の状態で県大会の待機線に立ち、団員の思いを背負い、持てる力を全て出し尽くすことができた。順位は、4位と優勝まであと1歩でしたが、本当にすばらしい操法を行ってくれた選手と選手を支えてくれた団員には感謝しています。

最後に、ご協力いただいた選手のご家族及び長岡北部方面隊、地元町内会の皆様、ご指導いただいた新町出張所及び長岡消防署指導員の皆様、本当にありがとうございました。深く感謝申し上げます。



長岡北部方面隊 第13分団 選手紹介

指揮者	小林 俊 英
1 番 員	中 川 輝 和
2 番 員	越 塚 丈 治
3 番 員	石 田 伸 幸
補 助 員	桑 原 健 二

〈 消防大会結果 小型ポンプの部 〉

順 位	出 場 消 防 団 名
1 位	十日町市消防団 中里方面隊
2 位	聖籠町消防団
3 位	佐渡市消防団 南佐渡方面隊
4 位	長岡市消防団 長岡北部方面隊



長岡北部方面隊 第13分団

指揮者 小 林 俊 英

ジリジリと真夏の太陽が照りつける、8月7日、柏崎市・佐藤池。

長い訓練の中でも、いつも決まって一番緊張するのが、私にとっては「定位につけ！！」の号令の瞬間でした。長い訓練の末、遂に迎えた本番一本、チームの各番員が、それぞれ定位に移動し、正対・気をつけ！のわずかな静寂、「みんな！渾身込めて全力で行くぞ！！」と眼で念じ、「操作始め！！」

とにかく夢中で走り、投げ、標的^{たいじ}火点と対峙しました。

結果、第4位。悔しさと申し訳なさが残りましたが、模索しながらの初めての水出し操法に、長岡市代表チームとして、県大会に出場することができたのは、とても名誉なことであったと実感しています。水出し操法の難しさや奥の深さも痛感しました・・・。

4月より毎朝早くから、私たちチームメンバーをずっと支えてくださり、県大会まで導いてくださった、第13分団及び長岡北部方面隊の皆様、そして、6月以降の県大会訓練にあっては、厳しく、暖かく、親身な指導をしてくださった、新町出張所及び本署の指導員の皆様、本当にありがとうございました！！そして、チームメンバーのみんな、一緒にできてよかったです！！

女性消防団員の募集について

7月から大々的に女性消防団員を募集したところ、多くの方から入団希望があり、10月1日付けで約20名の方の入団を予定しています。まだまだ募集していますので、ご近所、お知り合いに元気でやる気のある方がおられましたら、消防本部総務課にご連絡ください。

主な活動内容や入団資格は下記のとおりです。

記

【女性消防団員の主な活動】

- 平常時：○防火広報や高齢者世帯などの防火訪問
 ○地域住民の応急手当指導
 ○各種行事などでの消防団のPR
 ※女性団員のグループとして、市域全体で活動します。
- 災害時：○災害時の避難誘導や安否確認など
 ※基本的に消火活動には従事しません。

【入団資格】

市内にお住まい、または勤務する健康な18歳以上60歳未満の女性

※募集用リーフレット等がありますので、必要な場合はお問い合わせください。

「ありがとう！」のそばにいる仕事



消防団員の福利厚生の変更について（お知らせ）

東日本大震災の発生により、日本消防協会福祉共済制度の弔慰金等が減額されることになりました。変更後の福利厚生事業の給付額は、下記のとおりです。

記

	弔慰金・見舞金等	
	公務中	公務外
日本消防協会 福祉共済制度	※ ・本人死亡 1, 100万円 ・重度障害 1, 100万円	・本人死亡 100万円 ・重度障害 100万円
	・病気・けが等で15日以上入院 公私を問わず1日につき1, 500円	
新潟県消防協会 互助事業	・本人死亡 20万円 ・重度障害 20万円	・本人死亡 5万円
長岡市消防団互助会	・公務上の傷病で30日以上入院 見舞金 10,000円	
	・本人死亡 香典10万円、御明料2,000円、花料15,000円	
	・配偶者、同居の父母、子が死亡 香典10,000円、御明料2,000円	

※ 今回変更となった部分

該当事案が発生した場合は、所属長を通じて各署所へご連絡ください。

担当：総務課消防団係
 電話：35-2192